

ICTを効果的に活用し、 生徒の思考を広げたり深めたりする授業実践

C 協働学習

C4 学校の壁を越えた学習



遠隔地や海外の学校との
交流授業

とっとりICT活用
ハンドブック
「10の授業形態」
より



米子市立東山中学校の実践より（第1学年）

国語科：『問い』を立てて読み取りを深める～『オオカミを見る目』～
筆者 高槻成紀

「筆者に質問する内容を考える」という言語活動を柱に、より深い意味内容の理解、構成や展開の工夫の理解や発展的な読解を目指しました。第5時の「生徒が考えた問いについて筆者に質問し、その答えを聞いて考えを深める」場面において、Google Meet を活用し、東山中学校・弓ヶ浜中学校・筆者がつながりました。

ポイント1 他校の生徒とオンラインで意見交換をすることで、多様な読みの可能性を広げる。



米子市立弓ヶ浜中学校の1年生と同じ単元計画で学習を進めていきました。お互いに考えていた問いを交互に発表していくことで、自分たちでは思いつかなかった見方や考え方に触れることができました。

先生も学校の壁を越え、共同で教材研究を進めています。生徒や児童の実態をふまえながら、ねらいに迫るために効果的な学習活動について検討し合うことができます。



ポイント2 ゲストティーチャーにオンラインで直接質問することで、表現力の育成やより深い理解につなげる。



今回の実践では、ゲストティーチャーである筆者に直接質問できることで、生徒たちは、より深く問いを吟味したり、「なぜこのように書かれているのか」と自分なりの考えをもったりする姿が見られました。

筆者の高槻成紀氏は、鳥取県出身の生態学者で、ご自身の学生時代を振り返りながら生徒に語りかけてくださいました。ICTを活用することで、遠方におられる魅力的なゲストティーチャーともつながることができます。

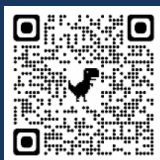


★一人一台端末が整備されて3年目になります。学校や学級で活用されている場面も増えてきています。各教科等で目指す資質・能力を育成するため、様々な活用事例を参考に、場面や機会を工夫しながら授業の中でICTを効果的に活用していきましょう。

もっといろいろな実践が見たい！そんなときは・・・

リーディングDX事業（東山中学校区）サイト

東山中学校、車尾小学校、啓成小学校の取り組みについて紹介しています。



Googleアカウント (@g.torikyo.ed.jp) でログインしてご覧ください。



ホーム 各校の取り組み 学校紹介 授業公開予定 米子市

4年 算数
垂直・平行と四角形①



カメラ機能、写真への書きこみ

垂直・平行の既習事項を使って問題づくりをした。グループで1台のChrome bookで記録写真を児童が撮った。その写真に垂直と平行がどこにあるかを書き込み、クラスで共有し、問題を出し合った。毎回、導入で行うことで垂直・平行の定着につながった。